



東京ニューシティ管弦楽団 2007年度定期演奏会

音楽監督・常任指揮者: 内藤 彰
首席指揮者: 曾我 大介



内藤 彰



曾我 大介



北とぴあシリーズ
Hokutopia Series

NEW YEAR
Concert 2007

愛の花咲く街、ウイーン

TOKYO NEW CITY ORCHESTRA

東京ニューシティ管弦楽団

第49回定期演奏会

2007年1月14日(日) 14時30分開演

北とぴあ さくらホール HOKUTOPIA SAKURA HALL

主催:東京ニューシティ管弦楽団 共催:(財)北区文化振興財団



芸術文化振興基金助成事業

【社】企業メセナ協議会認定

2007年度定期会員募集!!

4/26

(木)19:00 北とぴあ さくらホール ●第50回定期演奏会

〈グリーグ没後100年記念〉

- ・グリーグ:ノルウェー舞曲
- ・グリーグ:ピアノ協奏曲 イ短調
- ・グリーグ:音楽物語「ペール・ギュント」より 語り:柄本 明

■指揮:曾我 大介 ピアノ:三輪 郁 ソプラノ:鶴木 絵里 ハルダンゲル・ヴァイオリン:山瀬 理桜
S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 学生席¥1,500



6/8

(金)19:00 東京オペラシティコンサートホール ●第51回定期演奏会

〈ナショナルエディションによる本当のショパン〉

- ・ショパン:ポーランドの民謡の主題による幻想曲〈改訂新版日本初演〉
- ・ショパン:ピアノ協奏曲第1番 ホ短調〈改訂新版〉
- ・メンデルスゾーン:交響曲第3番 イ短調「スコットランド」(ブライトコップ新版2006)

■指揮:内藤 彰 ピアノ:河合 優子



9/21

(金)19:00 東京芸術劇場大ホール ●第52回定期演奏会

〈埋もれた名曲を求めて〉

- ・カリンニコフ:交響曲第1番 ト短調
- ・カリンニコフ:交響曲第2番 イ長調

■指揮:曾我 大介

11/21

(水)19:00 東京芸術劇場大ホール ●第53回定期演奏会

〈ブルックナー新稿シリーズ〉

- ・ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」変ホ長調〈ヘンレ新版〉
- ・ブルックナー:交響曲第3番 ニ短調〈第1.5稿キヤラガン校訂世界初演〉他

■指揮:内藤 彰 ピアノ:宮谷 理香



©藤原 栄治

2008年 3/21

(金)19:00 東京芸術劇場大ホール ●第54回定期演奏会

・シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 ニ短調

・シベリウス:交響曲第2番 ニ長調〈ブライトコップ新版2006〉他

■指揮:内藤 彰 ヴァイオリン:川島 成道

第51回~54回 S¥6,000 A¥4,500 B¥3,000 学生席¥1,500



©ビクターエンタテインメント

東京ニューシティ管弦楽団 定期会員・賛助会員募集(サポーターズクラブ)

■定期会員(S会員 A会員 B会員) ※お得なこの制度を是非ご利用ください。(2007年の東京芸術劇場3公演は、毎回同じ席にお座り頂けます。別途ご希望も承ります)

	S会員		A会員		B会員	
	シングル	ペア	シングル	ペア	シングル	ペア
年会費(5公演)	19,500円	31,200円	15,000円	24,000円	10,500円	16,800円
1公演あたりの単価	3,900円	3,120円	3,000円	2,400円	2,100円	1,680円
割引率	約33%	約46%	約32%	約45%	約30%	約44%
定価()内は第50回	6,000円(5,000円)		4,500円(4,000円)		3,000円	

〈十さらにお得なシステム〉

- ゲスト割 会員様がお連れ様の為に追加チケットをお申し込みの場合、20%引きにてご購入いただけます。
- 振替制度 年間1公演のみ、ご都合のつかない公演のチケットを、別の公演のチケットにお振替いたします。ご家族・お友達と一緒にご来場ください。
- プラチナ会員(賛助会員) 年会費 1口10万円 プログラムにご芳名を掲載 定期演奏会のプラチナ席に毎回2名様ご招待
- ゴールド会員(賛助会員) 年会費 1口5万円 プログラムにご芳名を掲載 定期演奏会のプラチナ席に毎回1名様ご招待
- エコノミー・プラン(会費無料) ☆1回ごとのチケットご購入の際にもお得な割引制度です。
- シニア割 60歳以上の方は、10%割引となります。
- 親子割 小中高生1,000円(A.B席限定、保護者同伴の場合)
ご家族でクラシック音楽を楽しんでいただく為に、ご同伴のお子様(小中高生)の席を1,000円にてご用意させていただきます。
- まとめ割 一度に4枚以上(1公演でも2公演以上でも)のチケットをご購入いただいた場合、20%引きとなります。
- 学生券 学生席を1,500円で販売いたします。(25才以下)
- ・シニア割をご利用の際は、生年月日を、学生券・親子割をお申し込みの際は、学校名・学年・生年月日をお尋ねいたします。・複数の割引制度は同時にはご利用いただけません。
- 友の会(会費無料) ☆東京ニューシティ管弦楽団の演奏会のご案内・CDの割引案内等をお送りさせていただきます。
友の会会員の方には全公演のチケット(学生券を除く)を10%引きにて販売いたします。

有限責任中間法人 東京ニューシティ管弦楽団 事務局 Tel:03-5933-3222

お申し込み・お問い合わせ

Fax:03-6766-3782 E-mail:info@tnco.or.jp http://tnco.or.jp 〒178-0063 東京都練馬区東大泉3-22-15 シンフォニー・プラザ2F
・サポーターズクラブ、エコノミープランのお申し込みは、東京ニューシティ管弦楽団事務局へお願いいたします。

Program

2006年 年間統一テーマ“愛と死”

第49回定期演奏会 — 愛の花咲く街、ウィーン —

指揮:内藤 彰 チター:内藤 敏子 ソプラノ:高橋 知子 テノール:高橋 淳

ヨハン・シュトラウスII Johann Strauss II 1825~99

ワルツ 春の声

Walzer Frühlingsstimmen op.410

トリッチ・トラッチ・ポルカ

Tritsch-Tratsch-Polka op.214

ワルツ 南国のぼら

Walzer Rosen aus dem Süden op.388

ヨゼフ・シュトラウス Josef Strauss 1827~70

ポルカ・マズルカ 女心

Polka-Mazurka Frauenherz op.166

カール・マリア・フォン・ウェーバー (ベルリオース編)

Carl Maria von Weber 1786~1826

(orchestrated by Hector Berlioz 1803~69)

舞踏への勧誘—華麗なロンド

Rondo brillante – Aufforderung zum Tanz op.65

ジーチンスキー Rudolf Siczynski 1879~1952

ウィーン、わが夢の街

Wien, du Stadt Meiner Träume

ヨハン・シュトラウスII Johann Strauss II

ワルツ ウィーンの森の物語

Walzer G'schichten aus dem Wienerwald op.325

intermission [15]

ヨハン・シュトラウスII Johann Strauss II

オペレッタ「こうもり」

Operetta Die Fledermaus

序曲 Overture

チャールダーシュ“ふるさとの調べよ”

Csárdás -‘Klänge der Heimat’ (Sop.)

チクタクポルカ Tik-Tak-Polka op.365

フランツ・レハール Franz Lehár 1870~1948

オペレッタ 「^{ほほえみ}微笑の国」

Operetta Das Land des Lächelns

“君こそわが心のすべて”

‘Dein ist mein ganzes Herz’ (Ten.)

ヨハン・シュトラウスII Johann Strauss II

ポルカ 浮気心

Polka Leichtes Blut op.319

フランツ・レハール Franz Lehár

オペレッタ「メリー・ウイドウ」

Operetta Die lustige Witwe

“くちびるは語らずとも”〈愛のワルツ〉

‘Lippen schweigen, 's flütern Geigen’ (Sop. Ten.)

ワルツ 金と銀

Walzer Gold und Silber op.79

ヨハン・シュトラウスII Johann Strauss II

ワルツ 皇帝円舞曲

Kaiser-Walzer op.437

Profile

指揮:内藤 彰 Akira Naito (Conductor)



名古屋大学理学部卒業。在学中より指揮を山田一雄氏に師事する。桐朋学園大学研究科(指揮専攻)にて、小澤征爾氏、秋山和慶氏、尾高忠明氏他に師事し、修了後(社)山形交響楽団の専属指揮者を3年間務める。これまでに新日本フィル、東フィル、東響、新星日響、シティフィル、神奈川フィル、名フィル、九響他、日本の多くの主要オーケストラを指揮。1990年東京ニューシティ管弦楽団を設立。

海外では、1991年ベオグラードフィルを指揮、1992年には、モスクワ音楽院大ホールにて、モスクワ交響楽団を指揮し、ロシア音楽の魂を日本人から教えられたと絶賛された。その

後1996年5月、ロシアの国立ヴァロニーニッシュ歌劇場にて、『セヴィリアの理髪師』を、1997年5月には、ベラルーシ国立歌劇場にて『蝶々夫人』を指揮。また2001年3月サンクトペテルブルグ・カペラ交響楽団、2002年5月ロシア国立ウリヤノフスク・アカデミー交響楽団に客演し、新聞各紙に大きく取り上げられた。2001年12月北ハンガリー交響楽団、2002年7月ミラノスカラ座フィルのメンバーを中心とする州立ロンバルディア室内管弦楽団の北イタリアツアーを、2003年3月にはメキシコ州立交響楽団を指揮。

2004年1月に行なわれた歌劇『蝶々夫人』の公演にて、作曲家プッチーニの強い願いにもかかわらず初演以来一度も使われてこなかった、日本の伝統的‘かね類’(寺の釣鐘の音、お椀型のキン、風鈴他)に、12音の音程を持たせ‘楽器’として特注創作、それにより作曲者の願う本場の『蝶々夫人』の世界初演に成功し、音楽界の話題となった。更に2004年7月には、イタリアのプッチーニ・フェスティバルにおいて、この鐘が使用され、地元の新聞・テレビに大きく取り上げられた。

‘04年9月には、ブルックナーの交響曲第8番のAdagio楽章の新稿を、楽譜を起こすところから関わり、世界初演を果たした。この“ブルックナー新稿の世界初演シリーズ”の話題は、多くの新聞、音楽雑誌を賑わすのみならず、ライブ録音のCDも、「レコード芸術」誌他で、非常に高く評価されている。また、日本初のブライトコップ新版によるベートーヴェン交響曲チクルスも大いに注目を集めた。現在、東京ニューシティ管弦楽団、及びプロ混声合唱団「東京合唱協会」音楽監督・常任指揮者。日本指揮者協会幹事。

チター:内藤 敏子 Toshiko Naito (Zither)

武蔵野音楽大学弦学科卒業。中野千代、林竜作、篠崎弘嗣各氏にヴァイオリンを師事。卒業後、スイスに留学。そこでチターの魅力にひきこまれ、チューリヒにて数十年間高名なJ.コーザ女史に師事。「第三の男」で有名なチター奏者、アントン・カラス氏他からもレッスンを受け、スイスにてチター演奏家と教育者のディプロムを取得。

チューリヒ、ベルリン、ミュンヘン他、内外で活躍し、「内藤敏子氏の深みのある音色の美しさは世界最高のもの」と新聞等の音楽批評で高い評価を受ける。

帰国後は、オーケストラとの共演も数多く、「題名のない音楽会」等TV、ラジオ出演他、コンサート、録音などで活躍。また、最近の著書「第三の男・誕生秘話」は人気を博している。日本で随一のチターアカデミーの責任者としてチター演奏家、教育者等の育成にも力を注いでいる。また、秋篠宮妃子妃殿下のチターの先生としても知られている。



写真提供:小西 裕美子



ソプラノ:高橋 知子 Tomoko Takahashi (Soprano)

東京芸術大学卒業。二期会オペラスタジオマスタークラス修了(優秀賞受賞)。文化庁オペラ研修所修了。修了公演では「ドン・ジョバンニ」ドンナ・エルヴィーラを歌い、喝采を浴びた。

平成8年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアへ留学。第9回日本モーツァルト音楽コンクール奨励賞受賞。ホーレンダー・カリックス音楽事務所第1回アジアオーディション合格(特選)。ミレニウム・ニュー・クラシック・オーディション声楽部門第3位。第37回日伊声楽コンソルト入選。第9回ヴェルディ芸術文化振興会特別オーディション特別賞受賞、記念リサイタル(東京オペラシティ)開催。第1回日本チャイコフスキーコンクール声楽部門第1位。IBRA国際音楽コンクール優秀賞・特別タレント賞受賞(イタリア・ラゲーサ)

「椿姫」ヴィオレッタ、「こうもり」ロザリンデ、「魔笛」パミーナ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」ローラ、「チャールダッシュの女王」シルバ、「コシ・ファン・トゥッテ」フィオルデリージ、新国立劇場では「天守物語」撫子、「外套」ジョルジュッタ、「エレクトラ」侍女Ⅳ、子供のためのオペラ「ジークフリートの冒険」ブリュンヒルデ役には2年連続で出演、続けて「スペース・トゥーランドット」のトゥーランドットを演じ好評を博す。

2005年東京二期会オペラ劇場「メリー・ウイドウ」ハンナで出演、絶賛を浴びたことは記憶に新しい。華やかな舞台姿と個性豊かな表現力で将来を嘱望される、期待の新人である。二期会会員



テノール:高橋 淳 Jun Takahashi (Tenor)

埼玉県出身。東京音楽大学卒業、同大学院修了。'95年ザルツブルグ・モーツァルトウム音楽院夏期アカデミー修了。二期会オペラスタジオ第43期マスタークラス修了、修了時に優秀賞を受賞。

大学院在学中に、『魔笛』タミーノでデビューし、以後、新国立劇場と二期会を中心に、東京室内歌劇場、サントリーホール・ホールオペラ、小澤征爾音楽塾、日生劇場他、数多くの公演に出演し、確かな歌唱力と巧みな演技力で、難しい演目やキャラクターに至るまで幅広いレパートリーを歌っている。最近では、'06年4月二期会公演『皇帝テイトの慈悲』表題役が、各方面から高い評価を得た。コンサートでは、国内外の著名指揮者の下、主要オーケストラと共演し、ベートーヴェン「第九」をはじめ、バロックから現代に至るまで幅広いレパートリーを歌っている。特に、オルフ「カルミナ・ブラーナ」では個性的な歌唱が好評を博している。さらにG.アルブレヒトの厚い信頼を得ており、'03年読響定期・ヘンツェ『午後の曳航』(世界初演)では、難度の高い音楽を巧みな心理表現によって演奏し、各方面より高い評価を得た。'06年夏には、このヘンツェをザルツブルク音楽祭他、ベルリン、トリノにて、アルブレヒト指揮RAITRI放送響とともに歌い、各地でスタンディングオーベーションを受ける成功を取めた。

東京二期会会員、東京室内歌劇場会員。

Profile



テノール:志田 雄啓

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻(オペラ研究分野)修了、現在同大学院音楽研究科博士後期課程声楽研究領域(オペラ)に在籍中。第74回日本音楽コンクール声楽部門(オペラ)第1位及び松下賞受賞。オペラでは「コシ・ファン・トゥッテ」のフェランド、「ドン・ジョバンニ」のドン・オッタービオ、「蝶々夫人」のゴロー、「ラ・ボエーム」のロドルフォ、「椿姫」のアルフレード、ガストン、「2人のフォスカリ」のヤーコポ、「シモン・ボッカネグラ」のガブリエーレ、「こうもり」のアイゼンシュタイン、「トスカ」のスポレッタ、「イドメネオ」のタイトルロールを演じる。

1998年ミュンヘンでおこなわれた現代音楽祭にて、細川俊夫作曲、鈴木忠志演出の「リアの物語」に出演。つづいて1999年静岡と東京で行われた日本初演に出演する。2002年秋、韓国ソウル大学と東京藝術大学の共同制作で韓国ソウルにて行なわれた、「カヴァレリア・ルスティカーナ」にトゥリッドウ役にて出演。2005年、日生劇場で行われたニーノ・ロータ作曲「アラジンと魔法のランプ」にてアラジン役で出演した。

コンサートではモーツァルトの戴冠ミサ、レクイエム、ヘンデルのメサイア、ベートーベン合唱幻想曲、交響曲第9番、ヴェルディのレクイエムのテノールソロをつとめる。

また、研究活動として日本の伝統的文化を根本精神においたオペラの創作にも大変力を注いでいる。2002年にはヴェルディーのマクベスを、舞方を能役者と日本舞踊の役者1つの役を邦楽の舞と洋楽のオペラの2人によって担当させるという斬新な演出で好評を博し、続く2003年は、マクベスの、企画、演出、主演(歌)、台本(日本語)を手がけ、建築、漆、鍛金、油絵、先端芸術、楽理、邦楽、指揮、打楽器、オペラ等各科の芸大生と共に舞台芸術の新たな可能性を示唆するにいたった。

故疋田生次郎、加茂下稔、黒田彰、高橋大海、鈴木寛一、直野資の各師に師事。現在、聖徳大学非常勤講師、日本声楽アカデミー会員。

本日出演を予定しておりました高橋淳が急病のため、志田雄啓が出演することになりました。演奏曲目は変わりませんが、「メリー・ウイドウ」"くちびるは語らずとも"は日本語での歌唱となります。

何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

今年創立16年を迎える東京ニューシティ管弦楽団は、
 昨年4月、なおいっそうの飛躍を願って、「有限責任中間法人」に衣替えをいたしました。
 これを機にサポーターズクラブ(賛助会員・定期会員制度)を発足させ、
 ひとりでも多くの方々にオーケストラの魅力をお伝えすべく、理事・評議員そして楽員、
 スタッフ一同、努力してまいります。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

東京ニューシティ管弦楽団理事会名簿

理事長: 三善 清達 (評論家、元東京音楽大学学長)
専務理事: 内藤 彰 (東京ニューシティ管弦楽団代表)
常務理事: 杉山 繁三 (東京ニューシティ管弦楽団営業顧問)
理事: 家永 勝 (日本音楽プロデューサー協会代表幹事)
 石田 一志 (評論家)
 岡村 喬生 (オペラ歌手)
 竹腰 里子 (北区合唱連盟理事長)
 佐藤 幹一 (東京学芸大学名誉教授)
 田中 千香士 (東京芸術大学名誉教授)
 新実 徳英 (作曲家)
 松村 禎三 (作曲家)
 作田 忠司 (東京ニューシティ管弦楽団事務局長)

評議員: 神田 正美
 (音楽プロデューサー・東京ニューシティ管弦楽団顧問)
 斉藤 明 (オズミュージック代表取締役)
 丸岡 努 (フレンドシップ・コンサート・ジャパン代表)
 〈五十音順・敬称略〉

特別会員 御芳名

石本 務 様
 木村 好次 様
 小池 常隆 様
 小出 三郎 様
 富野 光太郎 様
 内藤 郁雄 様
 渡辺 大雄 様
 〈五十音順〉

御協賛企業

アクアサービス 株式会社

御協力企業

株式会社 北里楽器
 NPO法人 ザ・シチズンズ・カレッジ
 千秋オフィスサービス 株式会社
 パパゲーノ・ガルテン
 クラシック音楽鑑賞店 バロック
 株式会社 武蔵野楽器
 ラ・プリムール
 〈五十音順〉



東京ニューシティ管弦楽団 TOKYO NEW CITY ORCHESTRA

東京ニューシティ管弦楽団は、1990年、音楽監督・常任指揮者に内藤彰を擁し設立された。定期演奏会の他、名曲コンサート、オペラ・バレエとの共演、音楽鑑賞教室、レコーディングなど幅広く活躍。年間5回行われている定期演奏会では、古典奏法も加味したブライトコップ新版によるベートーヴェン交響曲チクルスの他、新しく発見されたブルックナーの楽譜使用など、斬新な内容は高く評価されている。

オペラの分野では特に評価が高く、二期会、藤原歌劇団のオペラ公演の他、レナータ・スコット、アルフレード・クラウス、ヘルマン・プライ、ルチアーノ・パヴァロッティ、カルロ・ベルゴンツィ、アグネス・バルツァ等世界で活躍するオペラ歌手との共演も数多く、聴衆や批評家のみならず、世界の著名オーケストラと共演している彼らからも、心からの絶賛の言葉を贈られている。バレエの分野では、国内の主要バレエ団の他、英国バーミンガム・ロイヤルバレエ団、ミラノスカラ座バレエ団、シュツットガルトバレエ団、モンテ・カルロバレエ団、ロシア国立レニングラードバレエ団等海外からのバレエ団の日本公演にもこれまで数多く出演し、公演をサポートする誠実で質の高い演奏が毎回非常に高い信頼と評価を得ている。また、桂三枝、江戸家小猫、三枝成彰、中島啓江等を迎えてのファミリーコンサートや、Jリーグ・アウォーズ、さだまさしツアーなどポピュラーの分野でも、大変評判がよく、多くの方々から親しまれている。

●音楽監督・常任指揮者

内藤 彰

●首席指揮者

曾我 大介

●コンサートマスター

鈴木 順子

■事務局

●事務局長

作田 忠司

●事務局次長

渡辺 晶子

●営業顧問

杉山 繁三

●スタッフ

相吉澤 絵里
 青木 勝弘
 木村 有美子
 鈴木 光子
 高松 順子
 高松 正典
 古市 尚子
 古屋 修
 堀口 佐知子
 松本 敬子
 山本 ふさこ

●Members

コンサートマスター

鈴木 順子

第1 ヴァイオリン

中澤 真理子
 中村 朱見
 福田 貴子
 笹井 飛鳥
 小澤 郁子
 伊東 佑樹
 剣持 由紀子
 小島 光敬
 渡辺 田鶴野
 岸田 晶子
 老田 美郁

第2 ヴァイオリン

○富山 ゆりえ
 山江 洋子
 高階 久美子
 塩野入 清美
 栗原 りか
 濱 由起恵
 深澤 聡子
 榎本 さとみ
 小林 清美
 越智 久美子

ヴィオラ

○桜井 多美子
 竹鼻 江美子
 堀江 冬子
 松田 美奈子
 諸橋 恵子
 浅川 文
 高瀬 有美
 徳高 真奈美
 チェロ
 ○齋藤 章一
 大島 純
 船田 裕子
 葛西 英一
 望月 直哉
 岡田 裕人
 松 穰
 久保 公人

コントラバス

○徳高 宏行(*)
 飯田 克哲
 大黒屋 宏昌
 管形 祐介
 寺田 和正
 駒井 朗

フルート

○井ノ上 洋(*)
 丸田 悠太
 オーボエ
 ○徳田 振作(*)
 斎藤 由紀
 クラリネット
 ○西尾 郁子(*)
 松元 香
 ファゴット
 ○藤田 旬
 早川 志保
 ホルン
 ○小川 正毅(*)
 山本 奈奈
 上久保 奈津子
 小笠原 一弘
 源 真理

バス・トロンボーン

恵藤 康充
 チューバ
 関口 哲也
 ティンパニ・打楽器
 ○藤城 佳之
 武山 芳史
 新田 初実
 川口 佳楠
 ハープ
 平山 菜津子
 小野 ゆみ子
 ステージマネージャー
 青木 勝弘
 ライブラリアン
 古市 尚子
 トランペット
 ○中西 清一(*)
 小野 美海
 鎌田 朋幸
 トロンボーン
 ○大川 真紀夫(*)
 伊藤 吉隆

○印は首席奏者

*印はインスペクター

*ヴァイオリン・ヴィオラ インスペクター 山川 奈緒子



「ヨハン・シュトラウスIIの顔が描かれている
 オーストリアの100シリング紙幣」

2002年に、EU(欧州連合)が発足し(07年現在27か国加盟)、紙幣も統一されてユーロになりましたが、それまでは加盟各国の中に音楽家の顔が描かれた紙幣がたくさんありました。

それらのお札のご紹介を昨年12月の定期演奏会のプログラムから始めまして、第1回はクララ・

シューマン(ドイツ、100マルク)でした。

今回は第2回目で、ヨハン・シュトラウスIIです(現在通用していません)。

(紙幣提供:神田 正美)